



旅東北NEWS

VOL.015
2019年12月13日発行
(一社)東北観光推進機構

台湾における東北観光PRイベントを開催しました（2019年11月16日～24日）

11月16日から24日の2週間にわたり、東北が一体となって各種プロモーションを集中的に行いました。台湾において、東北が一体となって各種プロモーションを集中的に行うことで、台湾における東北の認知度向上と台湾から東北への旅行者の拡大促進を図りました。

＜日本東北遊楽日2019＞

台湾の一般消費者向け東北観光PRイベントを実施しました。従来の台北会場に加え、今年は高雄会場でも初開催しました。

【台北会場】世界貿易センター3号館1フロア

11/16（土）、17（日） 入場者数：132,715人

【高雄会場】夢時代（ドリームモール）夢想広場

11/23（土）、24（日） 入場者数：147,520人



【日本東北遊楽日フォトセッション】



【東北プロモーション台北会場】

＜東北プロモーションin台湾＞

オール東北での商談会を台湾3都市で実施しました。今年度は宿泊者数が落ち込む夏季の団体商品の造成及び販売支援を目的とした商談会としました。

教育旅行に関する情報収集を行う旅行会社が例年より多く、東観推を含めた公的機関からの東北の情報発信が従来以上に必要だとお話をいただきました。

台北会場：11/19 国賓大飯店（アンバサダーホテル台北） 118名参加

台中会場：11/20 台中金典酒店（スプレンダー・ホテル台中） 71名参加

高雄会場：11/21 高雄福容大飯店（フーロンホテル高雄） 64名参加

＜訪日教育旅行セミナーin宜蘭＞

台湾から東北への教育旅行誘致を目的として、東北観光PRセミナーを行い、合わせて現地政府教育局及び現地高校訪問を実施しました。

東北への教育旅行は「震災」「雪」をテーマに日本の他の地域と差別化できるため、是非検討したいという声をいただきました。

11/18 午前 台湾宜蘭県教育局訪問

午後 訪日教育旅行セミナーin宜蘭（宜蘭高校にて）



11/19 現地高校訪問（羅東高校、羅東商業高校、蘇澳海産高校、宜蘭工業高校）

【宜蘭県教育局訪問】

ナショナルジオグラフィックが選ぶ2020年版BestTripsに「東北」が選ばれました（2019年11月21日）

世界各国で展開されている有力誌「National Geographic（ナショナルジオグラフィック）」は、毎年、世界で訪れるべき旅先として「Best Trips」を発表しています。2020年版では、都市、文化、自然、冒険の4部門から世界の25のデスティネーションが選出され、東北は冒険部門でランクインしました。

東北は、旅行ガイドブックで世界最大のシェアを持つ「Lonely Planet（ロンリープラネット）」が発表する「Best in Travel 2020」で2020年に訪れるべき世界10地域の第3位にも選出されています。今回の一連の選出は、これまで多くの方々に「東北」を発信いただき、東北が一体となってプロモーションを行ってきた結果です。

これらの選出を励みに、東観推としても、2020年7月～9月の2020東京オリンピック・パラリンピックや2021年4月からの東北デスティネーションキャンペーンを大きな契機と捉えて、プロモーションや受入環境整備に対するオール東北の取組みを推進してまいります。

【評価ポイント】

みちのく潮風トレイルや、安比高原など東北のスキーリゾート、黄金崎不老心死温泉などを具体的に勧めるとともに、東北を東京五輪開催時の混雑から自然へと抜け出すだけでなく、年間を通して訪問すべきデスティネーションとして紹介しています。



【みちのく潮風トレイル（種差海岸）】

仙台～大連便の運航再開に伴い大連市への表敬訪問等を実施しました (2019年11月2日～5日)

11月2日に中国国際航空が仙台～大連（～北京）便の運航を再開しました。これを契機として、大連及び東北3省からの誘客促進や日中両国の東北地方の継続的な連携強化を図っていくため、関係者が一体となって初便に搭乗するとともに、3日から4日にかけて、大連市や中国国際航空大連営業部等の関係機関を表敬訪問しました。

表敬訪問では、紺野専務から、運航再開を機に大連市、瀋陽市、長春市及びハルビン市等と東北各県との双方向交流の拡大に向けた協力依頼を行い、各機関との関係強化を図りました。

一方、大連から仙台への初便の到着にあわせ、宮城県や仙台空港と連携して搭乗者のお出迎えを行いました。また、同便に搭乗して来日した大連市の于副秘書長他4名の訪問団との意見交換会等に参加しました。秘書長からは、両国の東北の主要都市が結びつくことの重要性についてコメントがありました。

今後、これまで構築してきた関係を民間事業者にも拡大して継続的に強化していくため、来年予定している現地でのプロモーションに向けて準備を進めてまいります。



【大連市との夕食会】



【大連市訪問団のお出迎え】

コンテンツプラットフォーム商談会を開催しました (2019年11月13日)

東観推では、着地型コンテンツを一元的に収集し、5言語で検索可能なプラットフォームとして整備を進めています。東北6県+新潟県の地域DMO・地域連携DMOと連携し、JNTOが提唱する7つのパッショングに基づいてコンテンツを精査・分類しています。

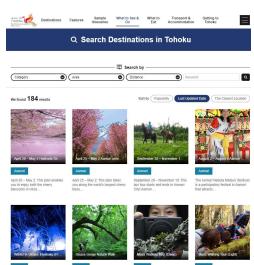
各コンテンツは5言語でA4一枚で出力することが可能となっており、コンテンツ提供事業者が外国人旅行者向けに利用したり、DMO等が旅行会社向けの商談で活用できるようになっています。

また、11月13日には旅行会社・ランドオペレーター・大手OTAなど15社（25名）と東観推を含む14DMOが参加した商談会を実施し、旅行商品への組み込み促進を実施しました。また各コンテンツへのフィードバックを得ることにより、磨き上げなど今後の商品造成におけるアドバイスも多数得ることができました。

今後はコンテンツ収集を加速し、2月・3月に実施を予定している第2回、第3回の商談会に魅力あるコンテンツを提供し、販売チャネルの構築を促進してまいります。

【旅行会社等から評価の高かったコンテンツ】

- ・冬の奥入瀬 氷瀑ナイトツアー ・青森ねぶた祭り 跳人衣装連拓&着付けプラン
- ・八幡平バックカントリーツアー ・男山酒造見学
- ・白装束で歩く羽黒山・湯殿山
- ・ユネスコ無形文化遺産登録記念！体感！冬のハナマグ！



【着地型コンテンツ
プラットフォーム】



【商談会】

フィリピンで日本イベントに出展し、現地旅行会社へのセールスコールを実施しました (2019年11月9日～11日)

11月9日から10日にかけて、JNTOマニラ事務所が主催した「Japan Fiesta」に出展し、現地一般消費者向けに東北地方のプロモーションを実施しました。

イベント来場者は、2日間で約1万8000人に上り、東北ブースには一般客及びプレス等含め、約5000名が訪れました。日本からの参加者は33団体でしたが、2ブースでの出展は東観推とJR東日本のみであったため、会場内で非常に注目を浴びました。

また、東観推ブースとJR東日本ブースが隣接していたため、観光情報と交通手段（JR EAST PASS情報）をセットで伝えることができ、プロモーションした観光地情報から実際の旅行イメージの具体化へとつなげることができました。

11月11日に行ったセールスコールでは現地旅行会社4社を訪問しました。残念ながら東北旅行を扱っている会社は1社のみでしたが、来年の春から東北ツアーの取り扱いを開始するとのお話を伺うことができました。

すべての会社で日本商品＝東京・京都・大阪などのゴールデンルートという状況であったため、日本国内におけるゴールデンルートの「次」の行き先に東北が選ばれるよう、引き続き情報発信を強化してまいります。



【樹氷をメインにした
ブースデザイン】



【大盛況の東北ブース】

欧米の富裕層向け旅行会社を招請しました（2019年11月5日～9日）

11月5日から9日にかけて、欧米市場において訪日富裕層旅行の送客実績を有する旅行会社5社5名を招請し、東北の観光資源を視察・体験していただきました。

視察を通じて、欧米の富裕層旅行者は自然や伝統文化、伝統工芸への関心が高いことが改めて分かったほか、他地域と比較して、東北の人の素朴さや温かさを評価する声も聞かれました。

また、富裕層旅行では宿泊場所が重視されますが、今回は農家民宿体験を取り入れたところ、非招請者から『日本人の日常生活に触れる体験』の一つとして高い評価をいただきました。

今後、12月のILTMカンヌへの出展等を通じて、国内外の旅行会社への一層の浸透を図るとともに、欧米における東北の認知度向上や受入環境の整備をバランスよく取り組みながら、着実な誘客を図ってまいります。



韓国において旅行会社やランドオペレーター向けセールスコールを実施しました（2019年11月25日～26日）

11月25日から26日にかけて、韓国の旅行会社やランドオペレーターに対し、セールスコールを行いました。今年の9月に新たに「大崎・鳴子オルレ」が開設したことや、「ロンリープラネット」にて2020年に訪れるべき世界の旅行先のランキングで、日本の東北地方が3位に選出されたことを情報提供しました。今後、東北地方が旅行先としての認知度を高め、今後の観光客の増加が期待される旨を伝えました。

日韓関係はいまだに冷え込んでおり、東北への誘客状況はどの旅行会社でも思わしくないようでしたが、引き続き韓国市場へのプロモーションを行い、誘客促進に努めてまいります。



セールスコールの様子

第7回東北歴史文化講座を開催しました（2019年11月16日）

東観推は、会員企業の東日本旅客鉄道株式会社との共催で、東北各県の魅力・歴史・文化などの独自性のあるテーマを掘り下げて、主に首都圏の方々に紹介する「東北歴史文化講座」を開催しております。



【講演風景】

今回の講座の第1部では、福島県立博物館学芸員である高橋充氏を講師に迎え、「伊達政宗の挑戦、蒲生氏郷の理想」と題して、1590年頃会津に交差した武将の命運についてご講演いただきました。また、第2部では東北芸術工科大学教授である田口洋美氏を講師に迎え、「いま求められる“旅マタギ”」と題し、狩猟の民の生き方を通して、現代の都市と地方の関係についてご講演いただきました。今回も1,000名近くの方々にお集まりいただき、東北のより深い魅力を感じていただきました。

第5回フェニックス塾を開催しました（2019年11月7日～8日）

第5回フェニックス塾を北海道函館市で開催しました。11月7日にセミナー、8日にエクスカーションを開催し、それぞれ33名、26名の塾生が参加しました。

【11/7・第一部】セミナー

講 師：陳内祐樹氏

（グーグル（同）広報営業本部観光立国推進部長、内閣官房クールジャパン地域プロデューサー）

テーマ：「デジタルファースト宣言のすすめ～観光地創生に今必要なこと～」

【11/7・第二部】ワークショップ

「東北に更に多くのインバウンドを誘致するには」という課題に向け、各グループのテーマに沿った課題への対応策を話し合いました。

【11/8】エクスカーション

函館市観光部次長から函館市における観光の取組みについてご講話をいただいた後、ボランティアガイドの案内のものと函館市内の伝統的建造物群保存地区を訪問しました。



【エクスカーション】

口コミサイト活用セミナーを開催しました

(新庄市：11月13日、深浦町：11月18日、青森市：11月21日、十和田市：11月26日、鶴岡市：11月27日)

世界最大の口コミサイトであるトリップアドバイザーの活用に向けて「口コミサイト活用セミナー」を実施しています。11月は5箇所でセミナーを開催しました。

セミナー第1部ではトリップアドバイザーの概要や民間事業者・自治体による活用方法について説明し、第2部ではトリップアドバイザーへのオーナー東北の重要性や口コミへの返信方法、対象地域の現状を説明しました。セミナーは1月末まで実施します。



第10回理事会を開催しました (2019年11月21日)

新規入会会員（13社・団体）の件、2019年度補正予算の件について審議を行い、異議無く承認されました。

＜新規入会会員＞（入会申込順）株式会社庄交コーポレーション、株式会社ツガルサイコー、KDDI株式会社ソリューション事業本部ソリューション営業本部、株式会社インテージ、株式会社アクセスよねざわ、株式会社石田大成社東北営業所、株式会社第一広告社、リコージャパン株式会社、一般社団法人郡山市観光協会、一般財団法人3.11伝承ロード推進機構、アサヒ飲料株式会社東北支社、全国農業協同組合連合会、損害保険ジャパン日本興亜株式会社（総会員数231団体）

今後開催予定のセミナー

第6回フェニックス塾（第一部セミナー）

【日時】2019年12月20日（金） 13:00～14:30

【会場】NST新潟総合テレビ

【内容】セミナー「インバウンド時代の創造的なおもてなし」

【講師】中川 敬文氏（UDS株式会社 代表取締役社長）

【詳細・申込】どなたでもご聴講できます（無料）

<https://www.phoenix-school.com/entry06/index.html>



訪日外国人旅行者の口コミを収集する取り組みにご協力をお願いします！

近年、個人旅行化や情報収集・予約購入のデジタル化が進み、旅行先の決定には口コミが大きな影響力を持っています。特に、口コミの蓄積数や内容を見て行き先を決めるという外国人旅行者が増加しています。

しかし、東北においてはトリップアドバイザーにおける外国語口コミ数が日本全体の1%程度と、圧倒的に少ない状況にあるため、地域が一体となって口コミを収集していく必要があります。

口コミ数を増やすには、口コミ投稿型サイトへの施設の基本情報の登録（「管理者（オーナー）登録」）や外国人旅行者の来訪時に口コミの投稿を呼びかけるなど、観光関係事業者の皆様のご協力が不可欠です。

より一層東北への集客を図るため、ご協力をお願いします。

●トリップアドバイザーオーナー登録マニュアルを作成しました。これを見れば、オーナー登録の方法、

困ったときどうすればいいか、どうやって口コミに返信すればよいかがわかります。ぜひご活用ください。

https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0081/81_101_file.pdf



東北観光推進機構が提供するサービスをぜひご活用ください！

多言語電話通訳サービス

外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者

※ただし、大型小売店、医療機関は対象外

【対応言語】日本語⇒英語・中国語・韓国語

【利用時間】24時間365日対応

【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【申込】お電話またはFAXでお問い合わせください。

申込書をお送りします。



「旅東北NEWS」VOL.015 2019年12月13日発行
【発行】一般社団法人東北観光推進機構
仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階
【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293
【Email】info-ttpp@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！